

情報

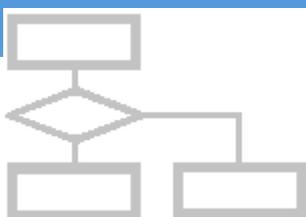
ビジネス科

ビジネス社会で、広く利用されているアプリケーションソフトウェアの活用方法や、プログラミングの学習を通して、効率の良い問題を解決するための方法や手順であるアルゴリズムを学び、社会・地域で必要とされる情報処理・ICTのスペシャリストの養成を目指しています。

学習内容

1・2年生

コンピュータ実習では、ビジネス社会で広く使われている表計算ソフトの学習を中心に学習します。プログラミングでは、効率の良い問題を解決するための方法や手順であるアルゴリズムの学習を中心に、プログラムの学習をします。



3年生

ネットショップ作成の学習、プレゼンテーションソフトの学習、ITパスポート試験・基本情報技術者試験の合格に向けた学習、コンピュータネットワークの学習をすることができます。

ネットショップは、11月上旬から期間限定でオープンします。オープン後は、本校のWebページからアクセスできます。



社会人講師による授業

ビジネス社会の最前線で、日々活躍されている方に来ていただいて、コンピュータやネットワーク、インターネットや、ICTに関する最先端の技術、に関するお話を聞いたりすることができます。



目指せ、ICTのスペシャリスト！

大学・専門学校との連携

学校では学習することがむづかしい内容を学習する上で、必要な施設・設備の整った学校の専門の先生に教えていただくことにより、情報処理に関する知識を深め、普段学習している情報処理の学習の発展につなげるとともに、将来の進路選択にも役立っています。

本年度は、帝塚山大学とECCコンピュータ専門学校を予定しています。



帝塚山大学



ECC
コンピュータ専門学校

検定取得（情報処理関係）

情報ビジネス科で取得できる検定
進路決定の際には、多くのメリットがあります。

- 1年 全国商業高等学校協会主催
 - 情報処理検定 3級
 - 情報処理検定 ビジネス情報部門 2級
 - 情報処理検定 プログラミング部門 2級
- 2年 全国商業高等学校協会主催
 - 情報処理検定 ビジネス情報部門 1級
 - 情報処理検定 プログラミング部門 1級

- 3年 経済産業省
 - ITパスポート試験
 - 基本情報技術者試験

情報ビジネス科の生徒の多くは、全国商業高等学校の検定で、3種目以上1級を取得して、特別に表彰されています。

